

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 市民-10 伝統鎌倉彫振興事業 <input type="checkbox"/> 支援部門						
主管課	観光商工課	関連課					
分野名	産業振興						
目標 (目標値)	鎌倉で唯一「伝統的工芸品」として指定されている鎌倉彫の高度な技術の伝承と地場産業としての振興を図る						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数						
事業の対価							
運営資源状況	決算値(千円)	1,504	1,815	1,726			
	(国・県)						
	(負担金等)	977	931	681			
	(一般財源)	527	884	1,045			
	人員配置数	0.1人	0.1人	0.1人			
	人件費(千円)	817	822	892			
	協働のパートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	2,321	2,637	2,618			
	市民1人当りの経費(円)	13	15	15			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
鎌倉彫生産額	△	目標値	970,000千円	970,000千円	970,000千円	970,000千円	
		実績値	950,000千円	920,000千円	630,000千円	630,000千円	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
伝統鎌倉彫振興事業	1,504	伝統鎌倉彫振興事業の一部	1,580	今後の方向性	B	理由・手法	鎌倉彫振興事業所の維持管理、伝統鎌倉彫事業協同組合が行う事業に要する経費の一部を助成する。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題							
課題解決のための取組							取組の結果
未解決の課題							
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性	○	②妥当性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	伝統鎌倉彫事業協同組合と連携を図り、伝統的工芸品としての技術の伝承及び地場産業振興を図るための支援を行う。						➡
	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止						B
							※□事業完了

評価者名

観光商工課担当課長

熊澤 隆士

